

**プロユース事業の急成長に伴う物流拠点再編**

**新倉庫『プロユース物流センター』が2026年5月より本格稼働開始**

～2029年1月期グループ売上261億円へ、成長を牽引する強靱な供給体制を構築～

ガーデンライフスタイルメーカーである株式会社タカショー（本社：和歌山県海南市 代表取締役社長：高岡伸夫 東証スタンダード：7590）は、プロユース向け商材を主力とする新物流倉庫『プロユース物流センター』を設立し、2026年5月より本格稼働いたしましたことをご知らせいたします。



【新倉庫『プロユース物流センター』外観・内観】

**◆背景：プロユース事業の急成長と中期経営計画達成に向けた施策**

1999年の稼働開始以来、当社の物流を支えてきた「中央ロジスティックセンター」は、ホームセンター向け商材を中心とした稼働から四半世紀が経過しましたが、現在の主力であるプロユース事業のエクステリア商材特有の「長尺・異形」という性質が、既存の出荷能力を圧迫する要因となっていました。当社は2029年1月期にグループ売上高261億円を目指す中期経営計画を推進しており、プロユース事業はその成長の牽引役です。増大する需要に対し、昨今のエネルギー価格高騰等の外部環境の変化にも左右されない、強靱かつ効率的な供給体制を構築するため、本プロジェクトを始動いたしました。

**◆新倉庫『プロユース物流センター』設立の目的と効果**

この度、総事業費約5億円を投じ設立した『プロユース物流センター』は中央ロジスティックセンター隣接地に新たに建設され、これらプロユース商材の保管・出庫機能を一括集約する「高効率拠点」として機能します。

また、倉庫間移動のロスを排除し、物流効率改善による年間約4,000万円の削減、また主力であるプロユース事業において2029年1月期に売上高170億円（2026年1月期比で約120%）を見込んでいます。中期経営計画の達成に向けたインフラ強化とこの持続的な成長を支えるべく、新倉庫によって出荷キャパシティを大幅に拡大。グループ全体の物流網を強靱化することで、計画の確実な達成を目指します。

### ◆新『プロユース物流センター』の概要

名称：プロユース物流センター

所在地：和歌山県海南市小野田30

施設用途：物流倉庫（主にプロユース商材の保管・出荷）

延床面積：3,200㎡（1階平屋建て）

投資規模：総事業費 約5億円

### ◆今後の展望：東西2拠点体制による「持続可能な物流」へ

当社は次なるステップとして、関東圏において「関東物流センター（仮称）」の設立を計画しています。現在は栃木工場隣接エリアにて関東向け物流の先行運用を開始しており、今後は取扱量拡大を見据えた物流機能の強化を進めてまいります。

今後は東日本・西日本の2大拠点体制を確立することで、昨今のエネルギー価格の影響を最小限に留める強靱なサプライチェーンの構築を目指します。これにより配送距離の短縮を実現させ、物流費の削減のみならず、CO<sub>2</sub>排出量の削減にも直結し、社会課題である環境負荷低減とコスト耐性の強化を両立させてまいります。

<<株式会社タカショー 会社概要>>

#### ◆本社所在地：

〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1

#### ◆東京本社所在地：

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-9 KDX 御茶ノ水ビル2F

#### ◆事業内容：

- ・環境エクステリア（インドア及びアウトドア庭園、緑化）に関する製品の企画開発
- ・ガーデン用品の輸出入販売
- ・エクステリア商品のソフトウェア開発販売
- ・CAD、CGソフトウェアの提供及び処理業務

◆ビジョン：やすらぎのある庭空間を通じて幸せな暮らしを創ります。

◆ホームページ：<https://takasho.co.jp/>

### 【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タカショー

経営管理本部 桑（くめ）

電話：072-734-8505

FAX：072-734-8508

メールアドレス：[press@takasho.co.jp](mailto:press@takasho.co.jp)